

“耕畜連携”で安全・安心な国産粗飼料の生産を

稲WCS生産利用の取組み事例 ～耕畜連携～



栽培管理



収穫・調製



稲WCS利用

稲作農家

畜産・酪農家

稲作農家

畜産・酪農家

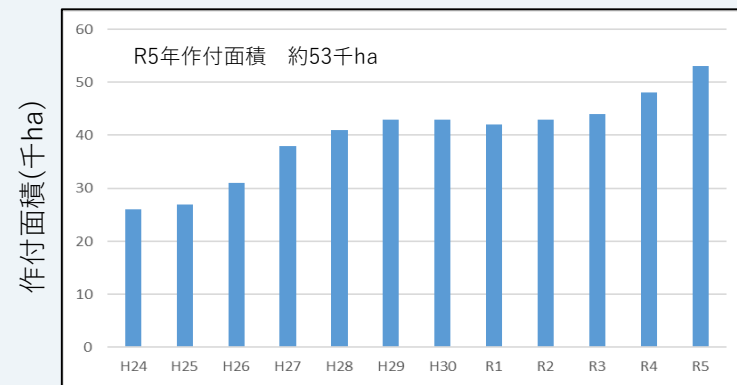
稲作農家

コントラクタ・公社等

畜産・酪農家

畜産・酪農家

WCS(稲発酵粗飼料)作付状況



※農林水産省HPデータ参照

飼料用イネは転作作物として水田を有効に活用でき、粗飼料としての品質が高いことも評価を得ていることから、全国的に栽培面積が拡大している。



■主要諸元

品名		細断型ホールクロップ収穫機		
型式		WB1040YH		
キャビン・バックモニタ		標準装備	変速方式	油圧サーボ付 HST 無段変速
全長×全幅×全高	(mm)	5,350×2,200×2,540	走行速度	あぜ越え 0～0.98
機体質量	(kg)	4,320	(m/s)	作業時 ※1 0～1.60
クローラ幅×接地長	(mm)	550×1,750		移動時 0～3.07
平均接地圧	(kPa{kg/cm ² })	22.5{0.23}	大きさ	φ100×85 ※2
エンジン出力／回転速度	(kW{PS})	51.9{70.6}	質量	約300(含水率約60%時)
燃料タンク容量	(L)	90	乾物密度	150以上
刈幅	(cm)	172{5条}	※1 収量・条件によっては車速を落とすか、刈取り条数を少なくして作業する必要があります。 ※2 パール直径は収穫物等の条件によってφ100より大きくなる事があります。 ※3 地面から穂首までの長さを表しています。	
適応稈長 ※3	(cm)	65～150		
カッター幅	(mm)	1,100		
理論切断長	(cm)	3		
混合方式		ダブルディスク		
梱包資材		ネット(幅123または103cm)		

※主要諸元・写真は、改良のため予告なく変更することがあります。



安全作業
農業機械は取扱説明書をよく読み正しい操作を心がけましょう。
農業機械の使用前後には点検・整備を心がけましょう。

二次元コードからも
タカキタのホームページに
アクセスできます。



製品のご相談は・・・

株式会社 タカキタ

本社工場／〒518-0441 三重県名張市夏見2828番地 TEL.0595(63)3111(代) FAX.0595(64)0857
札幌工場／〒007-0882 札幌市東区北丘珠2条3丁目1番20号 TEL.011(781)1111(代) FAX.011(781)1113
営業所／札幌・豊富・北見・中標津・帯広・東北・南東北・関東・関西・中国・九州・南九州
URL: <https://www.takakita-net.co.jp>

2024/06

WHOLE CROP HARVESTER 細断型ホールクロップ収穫機

Takakita

WB1040YH

ハイグレードWCSづくりに！



**稈長150cm
の長稈品種
まで対応！**

排ガス規制対応エンジン搭載



細断型ホールクロップ収穫機の開発にあたっては、(独)農研機構中央農業総合研究センターとの共同研究成果である「特許名自走細断型ホールクロップ収穫機、特許番号：4672642号((独)農研機構との共同出願)」が利用されています。また、緊プロ事業に基づき生物系特定産業技術研究支援センターと共同開発された細断型ロールベアラのロール成形室を搭載しています。

稲発酵粗飼料 WCS（ホールクロップサイレージ）とは



ホールクロップサイレージとは、実をつける飼料作物を茎葉ごと収穫し、乳酸発酵させた粗飼料のこと。飼料用イネの場合は糊熟期～黄熟期が収穫適期の目安となります。



■飼料用イネ専用品種の特徴

- ①モミと茎葉を合わせた収量が多い
- ②倒伏に強い
- ③モミの脱粒がしにくい
- ④耐肥性に優れている



■理論切断長はなぜ「3cm」

3cmに切断することで高密度に梱包し、乳酸発酵を促進。
餌として牛の咀しゃく時間と消化のバランスが良いサイレージを作ることができます。



■稲ホールクロップ収穫システム



- ①ダイレクトに刈取り
- ②細断・混合しネットで梱包
- ③フィルムでラッピング
- ④1ヶ月以上かけて乳酸発酵

■良質な稲WCSを作るために

- ①含水率は65%以下が条件（糊熟期～黄熟期が目安）
※高水分では十分な乳酸発酵ができず、サイレージ品質が低下する。逆に低すぎても発酵不良となるので注意。
- ②湿田や条件の悪い圃場では高刈りが必要
※泥等から雑菌が混入すると酪酸菌が発生しやすく、サイレージ品質が低下する。
- ③乳酸菌を添加する
※水分が多いとき、長期保存するときは特に必要。
- ④梱包後のラッピング作業は速やかに
- ⑤保管時は必ず縦置き（2段、3段積み）
- ⑥フィルムに穴が開いたときは直ちに補修用テープ等で補修



自走ラップマシーン SW1121D

製品の特徴

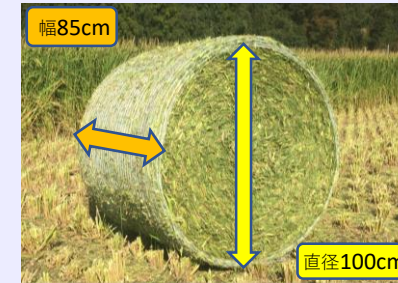
■稈長「65cmの短稈」から「150cmの長稈」まで対応



- ①長稈品種対応
飼料用イネの特徴である長稈品種も、稈長150cmまで対応可能

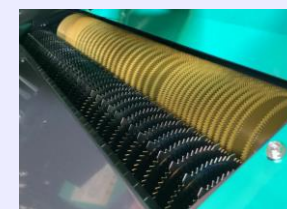


- ②短稈対応
短稈(稈長65cm以上)でも刈取部から搬送部への受け渡しスムーズ



- ③べール質量
約300～320kg ※
※含水率約60%の場合

■細断・混合でムラ無く高密度梱包



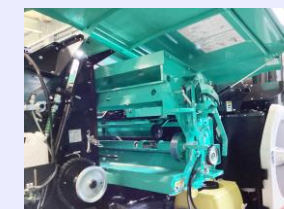
- ①ディスクカッタ
理論切断長3cmに作物をカット



- ②ダブルディスク
穂先と株元を混合



- ③チェンバー方式
高密度に圧縮



- ④ネット装置
ロスを少なく速やかに結束

■湿田での作業に強い



- ①旋回モード切替
「湿田モード」位置にセットすると旋回時に自動減速を切り、ゆるやかな旋回が可能
- ②自動水平制御（UFO）
機体の左右を水平に保つ
- ③ワイドクローラ
幅550mm×接地長1,750mmにより接地圧が低く、スムーズに走行・作業が可能

■添加装置を標準装備



乳酸発酵を促進する乳酸菌を添加することにより、より良質なサイレージに仕上がります。

乳酸菌を自動的に噴霧する添加装置を標準装備しています。

■コントロールBOX



ネットの巻数設定が簡単に行える他、電子カウンターやエラーメッセージが表示され、運転席で容易に操作・確認できます。

■ベアラ駆動スイッチ



べール放出時にべールがリヤケースから落ちない場合、チャンバを開けたままベアラ駆動スイッチで成形室を駆動させてべールを落ちやすくします。
※スイッチはキャビン内の前方右側に設置

■バックモニタ



機体後部に2台の小型カメラを装備。ハンドル中央の液晶モニターでべールの排出状態等が確認できます。
※モニタ画面はイメージ図